

令和5年度

# 最上総合支庁運営プログラム

令和5年8月  
最上総合支庁

# 令和5年度 最上総合支庁施策体系

## I 第4次山形県総合発展計画の推進

### 1 多様な世代がいきいきと暮らす、人に優しい地域社会の新しい仕組みづくり

- ① 地域への愛着と誇りの醸成による若者の定着・回帰の促進
- ② 就労・結婚・子育てなどの希望を実現できる地域社会づくり
- ③ 四季を通じて暮らしやすい環境の整備
- ④ 安心して暮らせる地域の基盤となる保健・医療・介護・福祉の充実と健康づくりの強化

### 2 「最上」の地域資源を活かし、新たな価値を生み出していく地域戦略の展開

- ⑤ 最上地域の産業をけん引していく人材の育成・確保
- ⑥ 林業・木材関連産業の集積を活かした産業振興の加速
- ⑦ 最上地域が誇る地域特産物の生産振興とブランド化の推進
- ⑧ 豊かな自然や多彩な食、伝統文化等の地域資源を活用した交流人口の拡大

### 3 最上8市町村の連携・協働による地域づくりと基盤形成

- ⑨ 高速道十字連携軸の整備促進
- ⑩ 防災・減災対策の推進
- ⑪ 地域資源等を活かした再生可能エネルギーの活用促進

## II 政策の効率的・効果的な展開の促進

- ⑫ 市町村連携による地域課題の解決促進
- ⑬ 地域内外への積極的な情報発信

# 令和5年度 最上総合支庁 主要事業

## I 第4次山形県総合発展計画の推進

### 1 多様な世代がいきいきと暮らす、人に優しい地域社会の新しい仕組みづくり

#### 施策の推進方向と主な取組み

##### ① 地域への愛着と誇りの醸成による若者の定着・回帰の促進

K P I	多様な学びと交流の場への高校生の参加数（累計）					
	基準値（R1年度）：540人					
		R2	R3	R4	R5	R6
	指標値	—	—	2,700人	3,420人	4,140人
	実績値	1,127人	2,035人	2,816人		

#### 【令和5年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

##### （課題）

- ・新庄・最上ジモト大学推進コンソーシアムについては、事業の周知拡大や効果的な展開が必要。また、プログラム提供者からの他社と連携等がしやすい仕組みづくりを求める声や、高校生の自らプログラムを提供したいという声に応えていく仕組みづくりが必要
- ・地域の大人の地域への「愛着」と「誇り」の醸成については、地域活動の縮小や地域づくりを行う人材の不足等から、活動を支援し、地域づくりに関わる人材を増やしていくことが必要
- ・最上小国川流域の新たな魅力や価値の創造の推進については、若い世代を含め、より幅広い年代から地域の文化や資源を知ってもらうことが必要
- ・中・高校生等の若者（特に女子）が地元で働く意識の醸成と更なるキャリア教育の推進が必要
- ・移住・定住の推進体制の強化については、働き方の変化などから地方への移住の関心が高まっていること等の機会を捉え、最上地域が一体となった移住者を惹きつける事業の展開が必要

##### （対応）

- ・新庄・最上ジモト大学推進コンソーシアム事業の効果的展開  
⇒引き続き、コンソーシアム構成団体と連携し事業を実施するとともに、企業・団体等のさらなる参加を促し、高校生と地域との結びつきをより深めていくため、「ジモト大学サポーター」を活用した高校生発案のプログラム等を実施
- ・地域の大人の地域への「愛着」と「誇り」の醸成  
⇒市町村と連携して事業を周知し、地域資源の魅力を発掘し磨き上げ、郷土愛の醸成や次世代に地域の魅力や誇りを伝えていく団体等の活動が着実に実行されるよう支援
- ・最上小国川流域の新たな魅力や価値の創造の推進  
⇒関係町等と連携し、広報活動及び最上小国川清流未来振興計画に沿った事業を着実に実施するとともに、参加する世代の裾野を広げていく活動を行う
- ・小中学生の地元企業の理解の促進と高校生の地元で働き暮らすイメージの喚起  
⇒学校や企業との連携を強化し、引き続き、企業の採用力向上を図るための人材育成、若者と教員並びに保護者の地域企業の理解促進
- ・移住・定住の推進体制の強化

⇒ふるさと最上暮らし館事業において、暮らし連携推進員や各市町村に移住のサポートを行う最上暮らしパートナーを新たに配置し受入体制を強化するとともに、ふるさと山形移住・定住推進センター及び管内市町村と連携し、最上地域一体となった移住・定住事業を展開

【令和5年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	予算額 (前年度)	区分	事業概要
新庄・最上ジモト大学推進事業費	400 (400)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・高校生を対象とした地域の大人との対話を通して地元地域を学ぶプログラムを実施
最上の魅力発見発掘支援事業費	586 (586)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・最上地域の魅力を発見し伝える活動を行う団体への支援
最上小国川清流未来振興事業費	1,500 (1,500)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・最上小国川清流未来振興計画に基づく最上小国川流域の地域づくりの推進
最上の産業人材育成地域定着促進事業費	622 (736)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	・小中学校教員の地元企業見学会及び従業員等との意見交換会を実施(1回予定) ・地元で働く若手社員が高校生に仕事の魅力を語る「特別授業」の開催(管内全8校予定) ・高校生の保護者を対象とした就職に関するセミナーの開催(4校予定)
ふるさと最上移住定住地域一体展開事業費	593 (442)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	・最上地域の实情に詳しく移住に関するノウハウを持つ「暮らし連携推進員」を配置し、各市町村の受入体制等を支援
計	3,701 (3,664)		

② 就労・結婚・子育てなどの希望を実現できる地域社会づくり

K P I	「やまがた縁結びたい」登録者数					
	基準値 (R1年度) : 4人					
		R2	R3	R4	R5	R6
	指標値	6人	8人	10人	12人	14人
実績値	6人	5人	9人			

【令和5年度における課題と対応(前年度からの見直し・新たな取組みの内容)】

(課題)

- ・県の「やまがた縁結びたい」や市町村の結婚支援者の活動を成婚に結び付けるためには、市町村の結婚支援者の人材育成と、県の「やまがた縁結びたい」の登録者数の増による市町村の枠を越えた広域的な交流や活動の場が必要
- ・若者、特に若手女性の人口減少が進んでいる中、女性が地域で暮らし活躍しやすい環境づくりのための取組み推進が必要
- ・安心して子どもを産み育てられる最上地域とするため、地域が一体となって子育てを応援する気運の醸成や、発達障がい傾向の児への支援が必要

<p>(対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・結婚支援者の人材育成と広域的な交流の場の設定 ⇒「やまがた縁結びたい」への登録推進と掘り起こしのための「やまがた縁結びたい」人材育成セミナー及び懇談会等の開催</li> <li>・女性の活躍しやすい環境づくりの推進 ⇒誰もが主役・輝く最上のひとつづくりシンポジウムの開催（女性が地域で暮らし活躍していくための気づきを支援） ⇒女性の活躍推進に向けたセミナーの開催</li> <li>・子育て応援の気運の醸成、発達障がい傾向の児への支援 ⇒「最上地域みんなで子育て応援団」による子育て応援事業の展開（子育て世帯向けイベント等の開催、支援者向け研修会の実施及び子育て支援情報の発信） ⇒小児科医師や公認心理師等による保育所等での発達障がい傾向の児への対応に関する指導・助言等</li> </ul>
--

【令和5年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	予算額 (前年度)	区分	事業概要
最上地域「やまがた縁結びたい」人材育成事業費	153 (153)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・最上地域で結婚を望む男女の希望を叶えるため、ボランティア仲人「やまがた縁結びたい」の登録拡大を図るための人材育成セミナーや懇談会の開催
やまがたハッピーライフプロジェクト事業費		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・最上地域に設置された「やまがたハッピーサポートセンター最上支所」を拠点に結婚を望む男女のマッチングを実施 ・「やまがた縁結びたい」のスキルアップのための講座の開催  (本庁予算・ゼロ予算事業)
誰もが主役・輝く最上のひとつづくり事業費	148 (148)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・最上地域で様々な活動を行っている女性をゲストに迎えて、「誰もが主役・輝く最上のひとつづくりシンポジウム」の開催
共に働き共に育む社会づくり推進事業費	100 (100)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・女性活躍推進のためのセミナーの開催  (本庁予算)
企業におけるワーク・ライフ・バランス推進事業費		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・「やまがたイクボス同盟」の活動による企業経営層の意識改革と取組みの拡大  (本庁予算・ゼロ予算事業)
子育て県民運動推進費	292 (292)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・「最上地域みんなで子育て応援団」による定例会議の開催、子育て応援イベント等の開催、子育て支援者向け研修会の実施、専用ホームページ「モコネット」による子育て情報の発信  (本庁予算)
最上地域発達障がい児等相談支援事業費	261 (261)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・小児科医や公認心理師等が保育所等を訪問し、発達障がい傾向の児への個別的な関わりについて指導・助言を行う巡回相談の実施 ・個別支援計画作成研修及び事例検討の実施 ・支援内容の共有と日々の保育での活用のための支援事例シート作成

発達障がい者支援体制整備事業費		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・発達障がいに対する早期支援体制の強化のため、児童発達早期コンサルティング事業による公認心理師等の発達相談や発達検査の実施 (本庁予算・ゼロ予算事業)
計	954 (954)		

③ 四季を通じて暮らしやすい環境の整備

K P I	県及び市町村施工流雪溝供用部に面する間口戸数（流雪溝整備事業実施箇所）					
	基準値（R1年度）：277戸					
		R2	R3	R4	R5	R6
	指標値	488戸	555戸	622戸	689戸	757戸
	実績値	344戸	564戸	591戸		

【令和5年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化を伴う人口減少や働き方の変化等により、地域での除排雪等の担い手が減少。地域で高齢者の生活等を支える仕組みづくりが必要</li> <li>・道路除雪は、道路交通の確保を目的に実施しているが、家屋等前の間口除雪の負担が大きい</li> <li>・高齢者等、交通弱者の通院、買物等の移動手段確保に向けて、バス路線をはじめ適切な交通網の整備を図っていくことが必要</li> </ul> <p>(対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共助による間口除雪や通院、買い物など高齢者の生活支援等を担う仕組みづくりの促進 ⇒市町村と意見交換等を行いながら、除排雪等高齢者の生活支援を担う仕組みづくりに向けて更なる検討を促進</li> <li>・地域の経済活動と日常生活の安定を図るための消流雪施設の整備推進 ⇒冬期道路交通の確保を目的とした道路除雪や流雪溝などの消流雪施設の整備を促進させるための政府への働き掛け、市町村流雪溝整備事業との連携・支援、沿線の地域住民への利用ルールの周知</li> <li>・市と町村の役割分担による、地域として利便性の高い地域交通ネットワークの構築 ⇒県立新庄病院移転等に対応した最上地域全体の地域公共交通網について、協議する場を設定し、利便性の高い交通網の形成を促進</li> </ul>
--

【令和5年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	予算額 (前年度)	区分	事業概要
雪に強いみちづくり事業費	76,322 (241,035)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・流雪溝、消雪設備、雪崩防止柵、防雪柵等の整備 (本庁予算)
道路除雪費	246,453 (898,354)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・冬期道路交通の確保を図るため、市町村や除雪業者と連携した道路除雪の実施 (本庁予算)
地域交通総合対策事業費		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し	・県地域公共交通計画に基づく、持続可能な地域公共交通ネットワークの構築に向けた取組み

		<input checked="" type="checkbox"/> 継続	の推進 (本庁予算・ゼロ予算事業)
生活交通確保対策費		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・路線バスまたはデマンド交通を維持する市町村に対する支援 ・生活交通の改善に向けた検討や実証運行等を行う市町村に対する支援 (本庁予算・ゼロ予算事業)
計	322,775 (1,139,389)		

④ 安心して暮らせる地域の基盤となる保健・医療・介護・福祉の充実と健康づくりの強化

K P I	地域医療情報ネットワーク「もがみネット」登録累計患者数					
	基準値（R1年度）： 3,625人					
		R2	R3	R4	R5	R6
	指標値	3,985人	4,345人 (4,850人)	4,705人 (5,210人)	5,065人 (6,613人)	5,425人 (7,263人)
	実績値	4,490人	5,300人	5,963人		
K P I	県内看護師等養成所卒業生の管内定着率					
	基準値（H26～30年度平均）： 17.3%					
		R2	R3	R4	R5	R6
	指標値	23.5%	26.3%	29.3%	32.3%	35.3%
	実績値	27.8%	23.1% (直近値)	—		
K P I	福祉型小さな拠点数					
	基準値（R1年度）： 6箇所					
		R2	R3	R4	R5	R6
	指標値	7箇所	8箇所	9箇所	10箇所	12箇所
	実績値	6箇所	6箇所	6箇所		

※括弧書きは、第4次山形県総合発展計画実施計画に掲げた指標を上回る独自の指標

【令和5年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民のニーズに応じた医療・介護・福祉サービスを提供するため、患者情報の共有を可能とする「もがみネット」のさらなる普及・活用促進や、医療・介護多職種連携に関わる人材の育成支援による医療機関相互、医療機関と介護施設等との連携促進が必要</li> <li>・新しい県立新庄病院に設ける「医療・介護・福祉の総合相談窓口」の整備による連携・相談体制の充実が必要</li> <li>・医師・看護師等の医療従事者が不足していることから、将来にわたり医療従事者を確保し、安定した医療提供体制を構築するため、最上地域での就業に結び付けるための小中高生向けの動機付け学習会等の開催等による医療系学校への進学者の確保に加え、即効性のある施策による地元就業の促進が必要</li> </ul>
---

- ・介護人材の確保・定着のため、多様な介護職員の確保と介護職員の離職防止が必要
- ・高齢者の介護予防・生活支援の充実を図るため、市町村における「住民主体の通いの場」の整備支援が必要
- ・最上地域は全国的にも胃がん、脳血管疾患による死亡率が高い。これらの疾患は食塩の過剰摂取との関連性があり、最上地域の1日の食塩摂取量は、県目標の「8g」に対し、「9.8g」と高値（平成28年調査）
- ・生活習慣病予防のため、子どもから高齢者まで減塩などの食生活改善の啓発が必要
- ・日常的に喫煙している人の割合は24.6%であり県平均と比較すると高く、（平成28年調査）がん予防のため、禁煙の推進とともに受動喫煙防止の啓発が必要
- ・新しい県立新庄病院にサテライトが設置されることから、病院と連携し来院者への効果的な啓発が必要
- ・介護予防の観点から全国的に低栄養予防、適度な運動習慣の啓発が求められている状況。高齢化が顕著な地域であることから高齢者に特化した健康づくりの啓発が必要

（対応）

- ・医療機関相互、医療機関と介護施設等の連携推進
  - ⇒「もがみネット」の利便性向上のため、参加機関と県立新庄病院間の画像、データ情報の提供に係る双方向化について、最上地域の実情及び要望等を踏まえた運用を検討するとともに、既存の「もがみネット」参加機関に対し、具体的な活用事例等を発信することなどを通して、さらなる普及・活用に向けた取組みを実施
  - ⇒医療・介護多職種連携の要となる入退院支援担当者、介護支援専門員のスキルアップ向上の支援
- ・医療・介護・福祉に係る相談体制の充実
  - ⇒新しい県立新庄病院に設ける総合患者サポートセンター内に設置予定の在宅医療・介護連携拠点の稼働に際し、関係機関からの在宅医療・介護連携に関する相談支援や研修事業を効果的に実施できるよう窓口環境及び事業推進組織等の体制整備を実施
- ・医療従事者の確保及び医療系学校への進学者確保、地元就業の促進
  - ⇒最上地域からの医師輩出増を目指し、中学生を対象とした動機付けのためのセミナー等を新たに開催
  - ⇒小中高生への動機付け学習会等の開催、希望者を対象に継続的に情報提供するフォローアップ事業により、医療系学校へ進学するにあたっての情報発信を実施
  - ⇒県外在住の看護職員及び県内外の看護学生を対象とした「お試しU1Jターン旅費支援事業」や最上管内の新任期の看護職員等を対象とした人脈づくりの支援の交流会「ナスカフェ」の実施
  - ⇒もがみ看護師確保推進ネットワーク協議会の運営により看護師の確保・育成及び定着を推進
  - ⇒関係機関と連携し県外で勤務する最上地域出身医師へ直接訪問し最上管内での勤務を働きかける「もがみカムバックドクター事業」の実施
  - ⇒関係機関（最上地域保健医療対策協議会等）と連携した医療人材の確保、育成、定着の推進（最上地域の病院及び公立診療所を紹介するパンフレット「もがみの医療」を全国の医科系大学、最上地域出身医師等へ送付）
- ・多様な介護職員の確保及び介護職員離職防止
  - ⇒小中高生向けの介護の仕事体験学習会の他、もがみ介護人材確保ネットワーク協議会を通じてハローワークや介護事業所等と連携して介護の仕事の魅力を伝える面談会「介護の仕事面談会」を開催
  - ⇒介護職員の早期離職を防止するため、若手介護職員が集い、仕事の魅力ややりがいについて語り合う「ケアワークトーク in 新庄」を開催
  - ⇒地域内で生活支援等に係る話し合いを進める地区を把握し、介護予防サービスの実施を想定して進められるよう、情報提供及び支援を実施



<p>⇒「福祉型小さな拠点」を整備済みの市町村から、未整備の市町村に対し、そのメリットや整備・運営支援のノウハウを伝える「生活支援コーディネーター情報交換会」を開催</p> <p>・健康づくりに関する情報発信・啓発</p> <p>⇒体験を通じて減塩意識を高めてもらうため「おいしい適塩ランチ」の継続と飲食店等への拡大</p> <p>⇒減塩、野菜の摂取量を増やすなど子どもと親世代の意識向上を図るため、管内保育園の「おいしい給食」レシピ動画を作成し、YouTube・ホームページに掲載</p> <p>⇒職場における健康増進の取組強化のため、事業所に健康情報の提供、受動喫煙防止の啓発を実施</p> <p>⇒高齢者に特化した健康づくりを啓発するため「低栄養予防」調理動画を作成し、ホームページ等に掲載</p> <p>⇒新庄病院来院者に健康づくり、がん検診受診等啓発強化月間等の啓発活動を実施。「おいしい給食」、「低栄養予防」の調理動画、健康情報等、モニターを介して情報提供</p>
--

【令和5年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	予算額 (前年度)	区分	事業概要
地域医療連携推進事業費	250 (250)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・「もがみネット」の利用促進及び医療・介護多職種連携の推進  (本庁予算)
最上の医療・介護人材育成地域定着促進事業費	644 (634)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	・最上地域からの医師輩出増を目指し、中学生を対象とした動機付けのためのセミナー等の開催【新規】 ・小中高生への動機付け学習会等の開催、継続的なフォローアップによる医療人材確保のための情報発信、関係機関の連携による看護師・介護人材の確保、育成、定着の促進 ・「おとしじい」ターン旅費支援事業、人脈づくり支援「ナスカフェ」の実施 ・「もがみカムバックドクター事業」の実施 ・小中高生へ介護職の魅力を発信する学習会や若手介護職員交流会の開催
医師確保対策費	214 (214)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・医学生を対象とした地域医療実習受入事業の実施  (本庁予算)
看護師確保対策費	248 (248)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・地域病院との連携による高校生対象の看護師体験セミナー（医療現場見学会）の開催  (本庁予算)
高齢者等生活支援サービス基盤整備事業費	6,891 (13,712)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・配食や移動等を支援する「担い手の養成講座」の開催 ・生活支援サービスに課題を抱える市町村に対する伴奏型支援（アドバイザーの派遣）の実施 ・高齢者の生活支援ニーズと地域のサービスをつなぐ役割を担う生活支援コーディネーターに対する研修会の開催  (本庁予算)
健康で安心な最上の暮らしづく	221 (268)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し	・子育て世代、子どもへの情報発信 市町村と連携した食育レシピ動画の作成

り推進事業費		□継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅高齢者と家族を対象とした情報発信 低栄養予防レシピ動画の作成</li> <li>・住民への情報発信 飲食店に配置した健康情報板による情報提供 事業所向け健康情報のメール配信</li> </ul>
計	8,468 (15,326)		

## 2 「最上」の地域資源を活かし、新たな価値を生み出していく地域戦略の展開

### ⑤ 最上地域の産業をけん引していく人材の育成・確保

K P I	新規就農者数（累計）					
	基準値（H28～R1年度累計）：187人					
		R2	R3	R4	R5	R6
	指標値	45人	90人	140人	190人	240人
	実績値	55人	96人	138人		
K P I	林業関係従事者数					
	基準値（H29年度）：309人					
		R2	R3	R4	R5	R6
	指標値	320人	325人	330人	335人	340人
	実績値	334人	346人 （直近値）	—		

#### 【令和5年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

##### （課題）

- ・意欲ある新規就農者の確保・育成とともに、農業経営の法人化など経営発展に意欲があり、地域農業をけん引する担い手（経営体）の育成が必要
- ・若者に対し「林業」という職業の情報提供が十分でなく、林業事業体が単独で募集しても申込者が少ない状況
- ・新時代に対応した技術力の強化や新たなビジネス展開の創出による地域経済の活性化、並びにこれらを担う高度な産業人材の育成・確保が必要

##### （対応）

- ・新規就農者の確保・育成と地域農業をけん引する経営体の育成・発展支援  
⇒関係機関との連携による動機付けから就農・定着までの各段階に応じたきめ細かな支援の実施  
⇒最上地域農業経営・就農支援チーム及び実践チームによる就農と経営に対する総合的なサポートの実施  
⇒東北農林専門職大学（仮称）（令和6年4月開学予定）の臨地実務実習先候補者を対象とした研修会の開催
- ・県・林業事業体の連携強化  
⇒林業・木材産業関連企業による合同説明会の開催  
⇒林業労働災害防止に向けた安全指導の実施
- ・産学官連携による地域企業の技術力・経営力の強化  
⇒新ビジネス創出に向けた企業間交流を促進させる先進企業等によるセミナーの開催  
⇒山大や鶴高専等の研究シーズを提供する「最上夜学」の（オンライン等）開催
- ・地域企業の採用力向上や教育機関と連携した産業人材の確保  
⇒企業向けのオンラインインターンシップ導入に関するセミナーの開催  
⇒地域企業、市町村、高等教育機関等と連携した生徒・学生向けキャリア教育や企業体験の実施

【令和5年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	予算額 (前年度)	区分	事業概要
地域中小企業連携 促進事業費	848 (848)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・ビジネスマッチング機会の創出、商談会(「ビジネスマッチ東北」等)への参加・支援 ・県内外の高付加価値化技術力等を有する先進企業等を講師とした経営者向けセミナー(イブニングサロン等)の開催 ・山大や鶴高専の研究シーズの提供、情報交換する場となる「最上夜学」の開催 (本庁予算)
地域若者人材確保 対策事業費	1,399 (1,399)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	・オンラインを活用したインターンシップや、気軽に参加できるワンデータイプの就業体験の実施 ・オンライン(ハイブリッド型)インターンシップのノウハウ習得のための企業セミナーの開催【新規】 (本庁予算)
計	2,247 (2,247)		

⑥ 林業・木材関連産業の集積を活かした産業振興の加速

K P I	最上地域の素材生産量					
	基準値 (H30年度) : 164 千m <sup>3</sup>					
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	指標値	200 千m <sup>3</sup>	210 千m <sup>3</sup>	220 千m <sup>3</sup>	230 千m <sup>3</sup>	240 千m <sup>3</sup>
	実績値	172 千m <sup>3</sup>	153 千m <sup>3</sup> (直近値)	—		

【令和5年度における課題と対応 (前年度からの見直し・新たな取組みの内容)】

(課題) ・高性能林業機械の導入や林道等の路網整備による効率的な施業体制の整備が必要
(対応) ・素材生産量の拡大 ⇒事業体等から積極的に情報収集を行い地域の現状や課題を把握したうえで、より効果的に高性能林業機械の導入及び作業道等の路網整備の支援を行う。

【令和5年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	予算額 (前年度)	区分	事業概要
林業・木材産業 成長産業化促進 対策事業費	29,993 (8,732)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	実施主体の以下の取組みを支援 ・高性能林業機械導入(2台) ・高性能林業機械リース支援(1台)

			・コンテナ苗生産基盤施設整備(1施設) (本庁予算)
合板・製材・集成材生産性向上・品目転換促進対策事業費 (R3補正)	57,929 (57,406)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	実施主体の以下の取組みを支援 ・間伐材生産(25.6ha) ・森林作業道整備(850m) ・高性能林業機械導入(1台) ・木材集出荷用機械導入(1台) ・特用林産物省エネルギー化施設等整備(3式) (本庁予算)
計	87,922 (66,138)		

⑦ 最上地域が誇る地域特産物の生産振興とブランド化の推進

K P I	主要園芸品目(6品目)の販売額					
	基準値(H27~R1平均):30.3億円					
		R2	R3	R4	R5	R6
	指標値	30.5億円	31.0億円	31.5億円	32.0億円	32.5億円
	実績値	34.2億円	29.4億円	33.3億円		
K P I	地域資源を活用した6次産業化の商品開発・事業化件数(累計)					
	基準値(H30・R1年度平均):2.5件					
		R2	R3	R4	R5	R6
	指標値	3件	6件	9件	12件	15件
	実績値	3件	7件	13件		

【令和5年度における課題と対応(前年度からの見直し・新たな取組みの内容)】

<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主要園芸6品目では、生産者数は高齢化等により頭打ち傾向、露地品目が多く気象変動等の影響を受けやすいため作柄が不安定</li> <li>・農商工連携及び農観連携による付加価値を高める事業化の推進を図ることが必要</li> <li>・生産・加工者の高齢化・固定化等により先細りしており、新たな担い手の確保が必要</li> <li>・国内外の産地間競争が激しくなっている中、畜産経営の維持・発展のためには、生産拡大や生産性の向上により経営能力を高めていくことが必要</li> <li>・穀物を主原料とする配合飼料価格の高騰により、畜産の生産コストが増大しているため、地域内の飼料用米や子実とうもろこし等の地域資源の有効活用が必要</li> <li>・最上産きのこの生産の担い手の安定的な確保と消費拡大を図ることが必要</li> <li>・最上産きのこの生産体制の強化を図ることが必要</li> </ul> <p>(対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高品質安定生産技術の普及、大規模経営体の育成、若手生産者の育成 ⇒新品種の導入、気象変動対策技術の検討等による高品質安定生産の促進 ⇒省力化技術の普及等による大規模経営体の育成 ⇒若手生産者組織の活動活性化と早期技術習得の支援による農業経営の確立、栽培技術の</li> </ul>
--

<p>「見える化」による中核・若手生産者への技術継承</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな商品開発・担い手の発掘等による農産物の利用拡大 ⇒農商工等多様な分野の人材がチームとなって、新商品の開発やブラッシュアップを支援 ⇒6次産業化の新たな担い手を発掘するための研修事業の実施</li> <li>・畜産経営の収益性向上 ⇒規模拡大や作業の効率化等を図る施設・機械等の整備に支援するとともに、関係機関と連携した飼養管理技術等の現地指導を実施</li> <li>・地域内穀物飼料の利用促進 ⇒コントラクター組織に対する穀物飼料（飼料用米や子実とうもろこし）の加工調製技術の指導や、畜産農家との需給マッチングを支援</li> <li>・最上産きのこ生産の担い手確保・消費拡大対策 ⇒将来の担い手確保につなげるための高校生向けのきのこ生産者による講義等の開催 ⇒イベント等でのレシピ集の配布やパネル展示等を実施</li> <li>・最上産きのこ生産技術・品質向上対策 ⇒生産施設等の整備を支援 ⇒生産資材の導入等を支援</li> </ul>
---

【令和5年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	予算額 (前年度)	区分	事業概要
やまがた野菜産地ランクアッププロジェクト事業費	560 (560)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気象変動対策技術の検討（大玉トマト）</li> <li>・栽培技術の「見える化」による中核・若手生産者への技術継承（ミニトマト）</li> <li>・栽培マニュアルを用いた新品種の作付け拡大、「越冬苗」や移植機の実証による生産の効率化（にら）</li> </ul> <p style="text-align: right;">(本庁予算)</p>
新庄もがみ新商品創造事業費	143 (143)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もがみ食産業プロジェクトチームの開催</li> <li>・機運醸成のためのセミナーの開催</li> </ul>
6次産業化総合推進事業費	775 (775)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産地直売所の魅力アップ支援</li> <li>・地域資源としての農産物等の情報発信</li> <li>・もがみの農産物等の販売促進</li> <li>・販売チャネルの多角化に向けた取組み支援</li> <li>・6次産業化の新たな担い手の発掘【新規】</li> </ul> <p style="text-align: right;">(本庁予算)</p>
食の至宝雪国やまがた伝承野菜推進事業費	877 (877)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生産基盤安定化のための取組み</li> <li>・次世代への普及・継承に向けた取組み</li> <li>・地域資源のブランド化のための取組み</li> </ul> <p style="text-align: right;">(本庁予算)</p>
地域園芸産地技術開発・支援事業費	1,868 (1,668)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市場ニーズの高い山菜の産地強化のため、品質・収量性の高い山菜のオリジナル品種の開発</li> <li>・最上地域の地域資源や気象条件を活かした園芸作物振興のための技術の組立て・実証等</li> </ul> <p style="text-align: right;">(本庁予算)</p>
畜産総合振興費	322 (322)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・優良子牛・高品質肥育牛生産に向けた現地指導</li> <li>・酪農生産性向上に向けた現地指導</li> </ul>

		<input checked="" type="checkbox"/> 継続	・養豚経営における環境対策指導 ・地域内穀物飼料の利用促進 (本庁予算)
もがみきのご担 い手・産地力強 化事業費	159 (159)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	・きのこ生産者による高校生向け講義等の開催 ・きのこの生産技術・販売力を向上する研修会 の開催
林業・木材産業 成長産業化促進 対策事業費	47,073 (56,650)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・特用林産振興施設等の整備を支援 (本庁予算)
計	51,777 (61,154)		

⑧ 豊かな自然や多彩な食、伝統文化等の地域資源を活用した交流人口の拡大

K P I	観光者数					
	基準値（H30年度）：2,626千人					
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	指標値	—	—	—	2,760千人	2,800千人
	実績値	1,508千人	1,625千人 (直近値)	—		
	外国人旅行者受入数					
	基準値（H30年）：18,440人					
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	指標値	—	—	—	37,000人	43,000人
	実績値	6,836人	171人	1,010人 (速報値)		
	産地直売所の販売金額					
	基準値（H30年）：4.3億円					
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
指標値	4.5億円	4.6億円	4.7億円	4.8億円	5.0億円	
実績値	4.2億円	4.0億円	4.2億円			

【令和5年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・回復する国内旅行やインバウンドの再開による観光需要を取り込むため、観光コンテンツの開発や受入態勢の強化に加え、戦略的な情報発信の展開が必要</li> <li>・小規模な生産者が多く、それを扱う産地直売所は小規模組織が多いことから、販売力の強化や取扱アイテムの充実並びに販売チャネルの多角化が必要</li> </ul> <p>(対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光コンテンツの開発・受入態勢の強化 ⇒管内市町村が推薦する団体等による観光商品造成に対する支援、旅行会社による旅行商品</li> </ul>
--

<p>造成に対する支援、近隣圏等との広域連携企画の実施、インバウンド対応のためのガイド養成研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 戦略的な情報発信の展開 ⇒インバウンドを含む個人旅行者をターゲットにしたSNS等の運用</li> <li>・ 産地直売所の売上向上 ⇒販売力強化と取扱いアイテムの充実に係る支援を行うとともに、SNSを活用した情報発信及び販路開拓につなげるためのインターネット販売に関する勉強会等、販売チャネルの多角化に向けた支援を実施</li> </ul>
--

【令和5年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	予算額 (前年度)	区分	事業概要
観光振興推進事業費	2,928 (2,928)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・管内市町村と関係機関で組織する「最上地域観光協議会」において、地域が一丸となった観光振興施策を展開
地域広域観光推進事業費	582 (582)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・隣接する宮城県大崎地域、秋田県雄勝地域と連携した観光誘客活動による広域観光の推進 (本庁予算)
6次産業化総合推進事業費 (再掲)	775 (775)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	・産地直売所の魅力アップ支援 ・地域資源としての農産物等の情報発信 ・もがみの農産物等の販売促進 ・販売チャネルの多角化に向けた取組み支援 ・6次産業化の新たな担い手の発掘【新規】 (本庁予算)
計	4,285 (4,285)		



## ⑨ 高速道十字連携軸の整備促進

K P I	東北中央自動車道、新庄酒田道路、一般国道 458 号の供用率					
	基準値（R1年度）：44%					
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	指標値	44%	44%	63%	65%	70%
	実績値	44%	44%	55%		

## 【令和5年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最上地域の高規格道路はミッシングリンクが多く、供用率が低い</li> <li>・最上地域の新たな核となる「道の駅」については、各市町村及び地域の合意形成が必要</li> </ul> <p>(対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高速道十字連携軸の整備促進に向けた一層の機運醸成 ⇒「最上を拓く高規格道路建設促進合同大会」の開催 ⇒政府の施策等に対する提案、中央省庁への要望活動</li> <li>・高速道十字連携軸を補完する県管理道路の整備促進</li> <li>・最上地域の新たな核となる「道の駅」整備へ向けた検討への支援 ⇒「新庄インターチェンジ付近道の駅（仮称）検討会」への参加 ⇒市町村及び民間団体による検討に必要な情報の提供</li> </ul>
---

## 【令和5年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	予算額 (前年度)	区分	事業概要
高速道路整備等促進による最上の基盤づくり事業費	574 (574)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高規格道路の整備促進に向けた「最上を拓く高規格道路建設促進合同大会」の開催</li> <li>・最上地域の新たな核となる「道の駅」整備について、設置者となる市町村や民間団体による検討を支援</li> </ul>
道路改築事業費	194,577 (100,000)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高速交通ネットワークへのアクセスを向上するとともに、災害時の緊急輸送道路の確保を図るための事業を推進</li> </ul> <p style="text-align: right;">(本庁予算)</p>
計	195,151 (100,574)		

⑩ 防災・減災対策の推進

K P I	自主防災組織の組織率					
	基準値（R1年度）：78.1%					
		R2	R3	R4	R5	R6
	指標値	81.2%	85.8% (92.0%)	88.9% (93.0%)	91.9% (94.0%)	95.0%
	実績値	89.5%	89.6%	90.8%		

※ 括弧書きは、第4次山形県総合発展計画実施計画に掲げた指標を上回る独自の指標

【令和5年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域防災力の向上のため、地域住民の防災意識の向上と共助体制の強化が必要</li> <li>・雪下ろしや除雪作業中における人的被害が多発しており、雪害事故防止に向けた取組みが必要</li> <li>・決壊時に下流域へ影響を及ぼす恐れのある農業用ため池の早急な防災減災対策が必要</li> <li>・要配慮者利用施設において、『避難確保計画』の内容の確認や『避難確保計画』に基づいた避難訓練の実施に向けた支援が必要</li> </ul> <p>(対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハード・ソフト一体となった防災対策の推進など、8市町村の連携・協働による地域全体の防災力強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒地域住民に対する防災知識の普及啓発及び自主防災組織の設立・活性化に向けた支援</li> <li>⇒安全で正しい雪下ろし作業等を学ぶための研修会の開催</li> <li>⇒農業用ため池を対象とした耐震工事等の推進と管理体制の強化及びハザードマップの活用や点検指導等による地域防災力の向上</li> <li>⇒要配慮者利用施設管理者が作成した『避難確保計画』に基づいた避難訓練の支援</li> </ul> </li> </ul>
--

【令和5年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	予算額 (前年度)	区分	事業概要
最上地域防災対策推進事業費	191 (191)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・住民や自主防災組織を対象にしたセミナー、防災ワークショップの開催 ・雪害事故防止研修会の開催
防災減災事業費	273,800 (217,000)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・防災重点ため池の耐震性の点検を進め、必要な対策工事を実施 ・関係市町村及び地元関係者と連携した管理体制の強化、ハザードマップの周知や点検指導等の実施  (本庁予算)
流下能力向上・持続化対策事業費	183,980 (228,963)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・河道掘削、支障木伐採、堆積土砂の発生源対策としての床止工の実施  (本庁予算)
計	457,971 (446,154)		

⑪ 地域資源等を活かした再生可能エネルギーの活用促進

K P I	木質バイオマスを活用したボイラー等の燃料機器（チップ、ペレット）の導入件数					
	基準値（H30年度）：19基					
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	指標値	20基	21基	22基	23基	24基
	実績値	20基	21基	21基		

【令和5年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

<p>（課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林整備により発生するチップやペレット等の原材料となる低質材（C・D材）の安定確保</li> <li>・再生可能エネルギーに対する理解や認知度の向上</li> </ul> <p>（対応）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チップやペレット等の原材料の確保 ⇒材の搬出経費に対する支援</li> <li>・多くの県民に対する効果的な情報発信の強化 ⇒新庄まつり等の集客イベントにおける啓発活動の実施 ⇒最上地域エネルギー戦略推進協議会を開催し、市町村との連携によるエネルギー戦略を推進 ⇒有識者による講演会の開催</li> </ul>
---

【令和5年度関連事務事業】

（単位：千円）

事業名	予算額 （前年度）	区分	事業概要
エネルギー戦略 推進事業費	109 (109)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・最上地域エネルギー戦略推進協議会の開催 ・有識者を招いた講演会の開催  (本庁予算)
再生可能エネルギー等設備導入 促進事業費		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・イベント等の開催に合わせ、再生可能エネルギーの活用を啓発  (本庁予算・ゼロ予算事業)
計	109 (109)		

## Ⅱ 政策の効率的・効果的な展開の促進

### 施策の推進方向と主な取組み

#### ⑫ 市町村連携による地域課題の解決促進

##### 【令和5年度における課題と対応（見直し・新たな取組みの内容）】

<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少や高齢化が急速に進んでいる最上地域においては、直面する多くの課題に対し、連携した取組みが必要</li> <li>・第6期1年目として「デジタル化を見据えた新たな施策の展開」を研究テーマに、社会的変化を踏まえ、先行事例研究等を通じた現状分析等を行った。2年目は具体的な施策提案に向けたブラッシュアップが必要</li> </ul>	
<p>(対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管内8市町村が連携した地域振興施策の調査研究           <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒最上地域政策研究所において、管内8市町村が連携した地域振興施策の調査研究を実施</li> <li>⇒第6期2年目となる令和5年度は、研究テーマである「デジタル化の進展を見据えた新たな施策の展開」について、実現可能な魅力ある施策提案に向けて研究内容のブラッシュアップを実施</li> <li>⇒また、各市町村の意向等を踏まえながら、研究所の今後の進め方を確認</li> </ul> </li> </ul>	

##### 【令和5年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	予算額 (前年度)	区分	事業概要
総合支庁地域政策推進費	1,868 (1,868)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・地域との協働・共創のもとに、地域課題に対応した施策を総合的に推進
計	1,868 (1,868)		

#### ⑬ 地域内外への積極的な情報発信

##### 【令和5年度における課題と対応（見直し・新たな取組みの内容）】

<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県民から県政への理解と協力を得るため、総合支庁の施策や地域情報について、効果的に情報発信することが必要</li> </ul>	
<p>(対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合支庁の施策や地域情報の効果的な情報発信           <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒最上総合支庁独自の広報媒体である広報紙「最上エコポリス通信」の発行</li> <li>⇒SNS「最上総合支庁公式ツイッター」を活用したタイムリーな情報発信</li> </ul> </li> <li>・職員の情報発信力の強化           <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒広報研修会の開催</li> </ul> </li> </ul>	

## 【令和5年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	予算額 (前年度)	区分	事業概要
総合支庁広報広 聴事業費（最 上）	390 (390)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・ 広報紙「最上エコポリス通信」の隔月発行 （410部） ・ SNS「最上総合支庁公式ツイッター」の随時 更新 ・ 職員向け広報研修会の開催
計	390 (390)		